

有機構造解析学（2025年度）後半・課題6

学生番号：_____ 氏名：_____

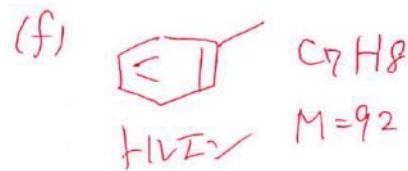
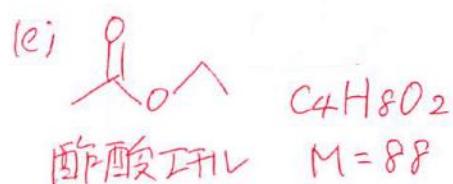
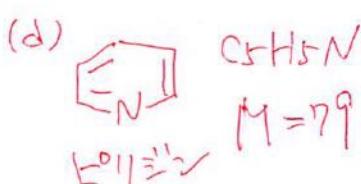
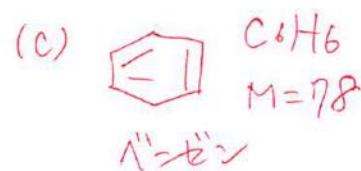
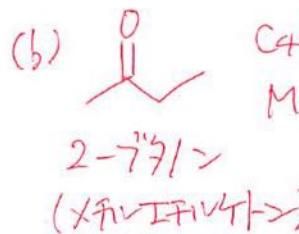
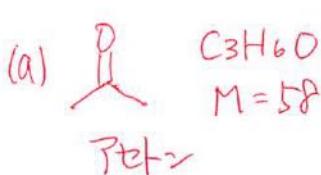
1. 危険物（第四類第一石油類）に分類される引火性液体6種について、EIマススペクトルデータを以下に示す（括弧内はピーク強度の相対値）。次の問い合わせに答えよ。

<解答例>

- (a) m/z 15 (23), 43 (100), 58 (64, M^+)
 (b) m/z 28 (12), 29 (13), 43 (100), 72 (34, M^+)
 (c) m/z 39 (8), 50 (10), 51 (13), 52 (15), 77 (16), 78 (100, M^+), 79 (7)
 (d) m/z 50 (14), 51 (22), 52 (56), 78 (11), 79 (100, M^+), 80 (6)
 (e) m/z 29 (14), 43 (100), 45 (15), 61 (15), 70 (10), 73 (5), 88 (5, M^+)
 (f) m/z 39 (11), 51 (7), 65 (12), 91 (100), 92 (78, M^+), 93 (6)

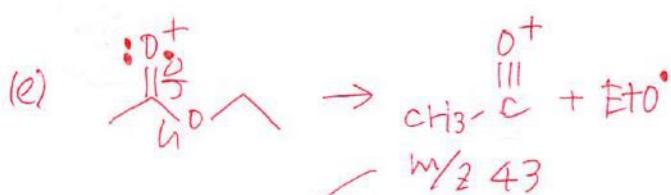
 M の値が全て異なるので、区別できる(a) b) e) 1 = m/z 43 が共通
 (d) のみ奇数の $M \rightarrow$ 窒素原子の存在

- (1) 6種の引火性液体について、構造式、名称、分子式、分子量を示せ。また、それぞれスペクトル (a)～(g) のどれに該当するか示せ。



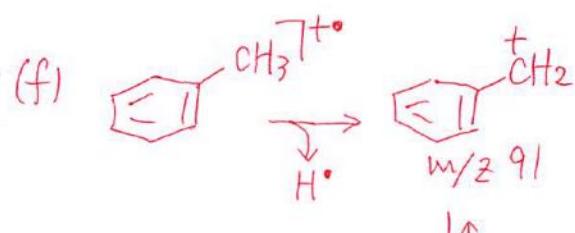
汎用性が高い有機溶剤なので、構造式や諸性質をまとめやすく良いでしょう。

- (2) スペクトル (e) および (f) について、下線部のフラグメントイオンが生じる機構を示せ。



講義に対する質問・要望など、自由に書いてください。

アセトン、2-ブタノンも同じ部分構造がある
 ニックル目です。



ベンジリカテオノンと
 ドロピニウムイオンが
 手順1=より強く
 觀測された。
 m/z 91

